



「命」の大切さ

大館市立東中学校 二年 小鮎穂乃実

「ピー、ピー、火事です！火事です！」と、この警報音で火災に気がつくことが多い。この警報音が鳴らないことを願っている。しかし、いつ火災が起こるかなんて誰も分からない。「自分の家で火災が起こる」なんて考えながら生活している人はあまりいないであろう。火災は、人間にとって忘れがちな存在であると私は思う。だからこそ、「火災」という言葉を身近にし、一人一人が火災について考えるべきではないだろうか。そこで、私は火災について調べることにした。調べて分かったことが四つある。一つ目は、コンロ火災だ。無意識に起こり、よく起こりうる火災だと考える。例えば、調理している間にコンロから離れた、コンロの上方にふきんを掛けたことなどによる火災だ。また、コンロの奥のものを取ろうとしたときに、袖口がコンロの火に触れてしまつて火災が起こるなどの事例がある。二つ目は、電気器具類の火災だ。ホコリだらけのままタコ足配線をしていたことや二十年以上使っていた扇風機から突然煙が発生し、火災につながってしまう。私も実際にヒヤリとした経験をしたことがある。それは、タブレットを充電していると、コードから煙が出て危うく火災につながってしまう状態になったことだ。煙の臭い匂いにすぐ気づくことができ、コードを抜いたので大きな事故にならなかった

た。しかし、煙が出たままの状態にしておくとな命が危険な事態になっていたと思うので、改めて火災は怖いと感じる瞬間となった。三つ目は、ストーブ火災だ。ストーブの前に衣類や紙くずなどを置いての火災。また、石油ストーブで洗濯物を乾かす、ストーブをつけたまま寝ていて火災が起こったなどの事例がある。四つ目は、放火による火災だ。夜中に出したゴミに放火されて火災に……。実際に無さそうである火災だと思う。そのような火災があったことを新聞やニュースで見たとがあった。この他にも、たばこ火災やローソク、灯明の火災などがある。火災には、多くの種類の火災があると分かった。

私が普段の生活で、火災予防のために心掛けていることが四つある。一つ目は、冬の時期にはストーブの周りに衣類や小物など燃える物は置かないことだ。二つ目は、コンロを使っているときはコンロから目を離さないことだ。三つ目は、タコ足配線をしないことだ。私の家庭では、よくタコ足配線をしてしまうのである。このちよつとしたミスで火災につながるようなにしたい。四つ目は、ゴミはゴミ収集日の朝に出すことだ。朝は忙しいので、前日の夜中にゴミを出すことのないようにしたいと思った。このように、火災によって命を落とさないように四つのことを心掛けて生活し、安心安全な暮らしを目指したい。そして、自分の命は自分で守り、家族全員の命を大切にし、家族の幸せをバトンのようにつなげたい。